

岐建・佐竹組特定JV 令和元～2年度 公共 社会資本整備総合交付金(改築)(債務)工事

推薦団体	岐阜県
発注事務所	大垣土木事務所
工期	令和元年12月27日 ～令和3年3月25日
施工場所	岐阜県養老郡 養老町
請負代金額	272,319.3千円
受注者	岐建・佐竹組特定JV

●i-Construction 普及促進への取組み

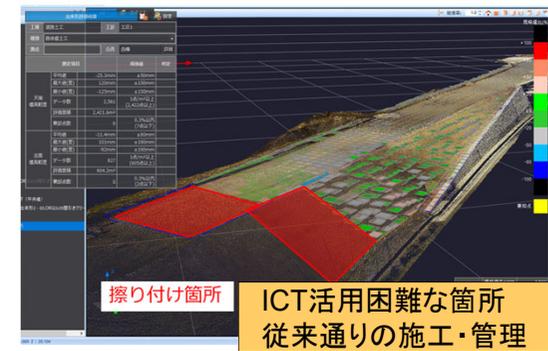


若手オペレーターによる施工



現場見学会の開催

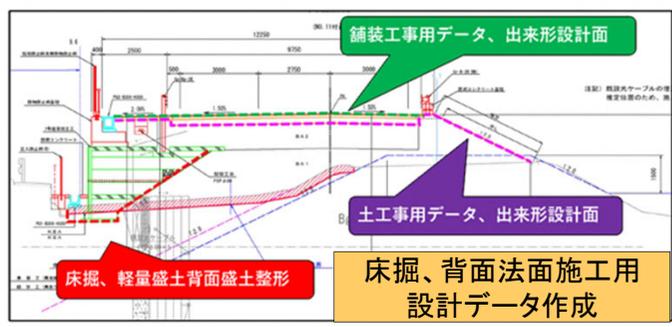
●ICT活用範囲の適切な選択



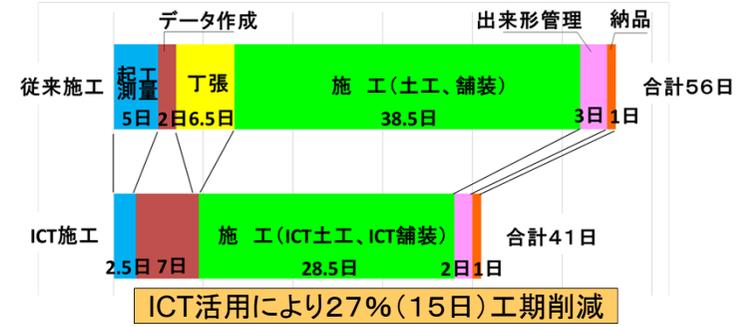
【工事概要】

工事延長 L=249.0m
 路体盛土ICT 2,800m³
 路床盛土ICT 1,400m³
 軽量盛土(EPS) 767m³
 擁壁工1式、排水構造物工1式、
 舗装工1式、道路付属施設工1式

●ICT建機稼働率向上のための工夫



●ICT建機稼働による工期短縮



【推薦理由】

- 現場代理人兼監理技術者は、中部地方整備局の「ICTアドバイザー」に登録されており、若手オペレーターへの指導及び施工の実践、現場見学会の開催を通じて、i-Constructionの普及促進に貢献した。
- 既設法面等への擦り付け箇所は、3次元設計データの作成が困難なため、従来通りの施工・管理とし、ICT活用範囲を最適化することで、コストを低減しつつ、総掘削作業期間の短縮を図った。
- ICT建機の稼働率向上のため、床掘、背面法面の設計データを作成。MC油圧ショベルのマシンガイドランス・コントロール機能を駆使しながら、少ない労力で高精度な施工を実施した。
- 上記のICT建機の活用により、従来施工と比べて27%の工期削減を図った。